

第393回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和8年6月26日

閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

このたびの市議会定例会は、去る6月1日の開会以来、本日まで26日間にわたり、中央公民館等複合施設整備事業に係る本年度施工分の工事費等を追加するほか、最高裁判所の判決を踏まえた生活保護費の追加支給など、緊急を要する経費を盛り込んだ補正予算並びに三木市中央公民館等複合施設整備事業設計施工一括工事請負契約の締結、福祉医療費の支給判定基準額を引き上げる条例改正などについて、ご審議をいただきました。

議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、審議を尽くされましたことに対しまして、深く敬意を表します。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案させていただいた議案につきましては、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

本日追加提案し、議決をいただいた補正予算において、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市立中学校の2学期及び3学期分の給食費を無償化します。これにより、物価高騰による子育て世帯の家計への負担を軽減し、長期化する物価高騰に対して、しっかりと対応してまいります。

さて、NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」において、三木合戦が取り上げられました。今月21日には、別所長治公が降伏を受け入れるシーンが放送され、その命と引き換えに家臣たちの命を救ったとのナレーションがあり、当時の長治公の胸中に思いをはせたところです。

また、14日の放送では竹中半兵衛の死が描かれ、その命日である6月13日に合わせた演出に感心しております。この日の本編終了後の「紀行」では、三木城跡や平井山ノ上付城跡（秀吉本陣跡）、竹中半兵衛重治公の墓など三木の史跡が紹介されました。今年も、7月13日に竹中半兵衛重治公の法要が墓所前で開催されます。今年で447回忌を数え、400年以上にわたり受け継がれてきた伝統が、今も地元平井地区に大切に守られていることに敬意を表します。

このように「豊臣兄弟！」の放送により、三木の歴史への関心が高まっています。7月18日には、「夏の義民祭」が開催されます。豊臣秀吉の時代に与えられた地子免許の特権を守った2人の義民「岡村源兵衛」、「大西与三右衛門」の遺徳を偲び、本要寺で法要が行われます。この日には、本要寺の宝蔵に残された貴重な古地図や古文書の虫干しを行っており、「ガイドボランティアみき」の解説付きで、虫干し作業等を見学できるツアーも開催されます。この機会に、三木の歴史に触れ、先人の思いを感じていただければと思います。

現在、台風7号及び8号が北上しており、三木市にも影響がある恐れがあります。このことからわかるように、これからの時期は、台風や局地的豪雨の発生など自然災害が起こりやすい季節を迎えております。災害発生時の自主防災組織や避難所の運営方法など、更に市民の皆さまの安全・安心な生活を守る取組に細心の注意が必要です。

5月29日からは、新たな防災気象情報の運用が開始されました。大雨、土砂災害に関する警報などの情報は、レベル3やレベル4といった避難情報の警戒レベルに対応するようになり、避難判断の目安が市民にもわかりやすくなったほか、新たに危

険警報が追加されることになりました。

どうか、議員各位そして市民の皆さまにおかれましても、日頃から災害への備えと、市やマスコミが発する防災情報には十分にご注意をいただき、有事の際には、早め早めの避難行動を心がけていただきますよう、お願いを申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。